

中国のテレビドラマ批評に関するメタ批評研究

—現代の社会思潮の影響を視野に考察する—

Meta-criticism on Chinese TV drama criticism

—Focused on influence of contemporary social thought—

王玉輝¹, 敖柏²

¹北海道大学大学院文学研究科, ²中国東北師範大学北東アジア映画文化研究センター

Yuhui Wang¹, Bai Ao²

¹Graduate School of Letters, Hokkaido University

Kita 10, Nishi 7, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido 060-0810

²Northeast Asian Cinema Culture Studies Center, Northeast Normal University

No.2555, Jingyue Street, Changchun, Jilin Province, P. R. China, 130117

キーワード：テレビドラマ批評, メタ批評, 現代の社会思潮, 中国のテレビドラマ

Key words : TV drama criticism, Meta-criticism, Contemporary social thought, Chinese TV drama

抄録

中国の現代化社会の大転換に伴い、人々のライフスタイル、言動、価値観、文化的観念に巨大な変革が訪れた。テレビドラマによって、メディアに媒介された社会現実を現れる。文化的意味の構築のための重要なアプローチと見なされる。それは主流文化と大衆文化との言語環境の中で形成され、さらに様々な社会思潮の影響を受け、それぞれ特徴のあるディスコースを形成している。

また、現代中国のテレビドラマにおける各種のジャンルの批評の文章は、社会思想の傾向、市場の動向、及び関連管理部門からの政策の影響を受け、批評家たちが自分の思想と見方を表明するための重要な手段になっている。

1. はじめに

1980年から現在までに中国の大衆文化は、空前の、画期的な変革を経てきた。文化製品の商業化、市場化、多元化はこうした変革による明らかな特徴である。テレビドラマは単にテキストをそのまま反映するという範囲をすでに超え、視聴者と社会との緊密な関係において考えられる。したがって、現代の社会思潮の影響下での、中国のテレビドラマ批評の言説に関する考察は、重要な研究課題となっている。

本論文の研究対象は、現代の社会思潮の影響下での、中国のテレビドラマ批評の言説に対する批評である。現代の中国では、テレビドラマは単にテキストをそのまま反映するという範囲をすでに超え、視聴者と社会との緊密な関係において考えられるようになっており、文化的意味の構築のための重要なアプローチと見なされる。

一方、現代の社会思潮の傾向は、芸術創造（中国のテレビ・シリーズや、それに対する批評家の批評を含む）の成果に必然的に重大な影響を及ぼし、それは、テレビドラマの隆盛のための前提をなすだけでなく、常にテレビ芸術創造の分野での新しいトレンドの出現を促進する。

そこで本研究では、現代社会でさまざまなトレンドが発生し進む中で、中国改革開放の新時代から生じてきた社会的、歴史的な変化の文脈における中国のテレビ批評を材料としてとりあげて、「テレビドラマ批評の言説」と「社会思潮」には如何なる関係が存在しているか。また、現代社会思潮の進展の歴史において、テレビドラマ批評の言説は如何なる時代の特徴を持っているか。最後に、西洋文芸批評理論が中国テレビドラマの理論研究を如何なる影響に与えているか。それが本研究の目的である。

2. 研究の方法

本論文の主たる研究対象は中国のテレビドラマ批評の言説に対する批評である。したがって、研究の方法としては、初めて「メタ批評」(meta-criticism)理論、即ち「批評への批評」を使って中国のテレビ批評に対する合理的な分析を行う。文献分析法としては、有名な批評家の文章、関連する哲学と美学の著作、各種テレビと映画定期刊行物に関する文献を収集、選択、整理した。また、歴史研究法としては、中国のドラマの批評史における有名な批評家の文章をサンプルとし、さらに関連する歴史資料を利用した。主に以下の評論家の論文を中心に考察していく。中国伝媒大学の仲呈祥、曾慶瑞、王偉国、楊偉光、高鑫、張鳳鑄、苗棣、劉曄原、張育華、戴清、胡智鋒、李勝利、吳素玲、盧蓉など、及ぶ彼らの弟子たちの黎鳴、張阿利、呂樂平、薛晉文、金洪申、江逐浪、張國濤などがある。北京師範大学の黄會林、周星、張智華など、北京電影学院の黄式憲、鄭洞天、王志敏など、北京大学の彭吉象、王一川、戴錦華、陳旭光、李道新など、中央戲劇学院の路海波であり、中国藝術研究院の章柏青、賈磊磊、丁亜平、秦喜清、趙小青など、解放軍藝術学院の王敏、邊立國など、八一電影製片廠研究部の張東であり、上海大学の陳犀禾、金丹元、藍凡、曲春景など、上海戲劇学院の石川、孫紹誼など、四川大学の歐陽宏生。カルチュラル・スタディーズに関するテレビドラマ批評という点、特に仲呈祥、賈磊磊、歐陽宏生、尹鴻、王一川、戴錦華、張頤武、孟繁樹、崔文華、周星、苗棣、劉曄原、周安華、戴清などを代表している。(詳細は参考文献を明記する)

その場合、中国のテレビの歴史的発展の順序に沿って、共時的(synchronic)と通時的(diachronic)の両面から、違う時代と同時代のさまざまなテレビ批評の文章について詳細な解説を行った。その後、ドラマ批評の言説と社会思潮とが重なり合い、互いに対応する規範を探求し、その規範下での有効な方策を分析した。

3. 結果と考察

3.1. 「テレビドラマ批評の言説」と「社会思潮」のインタラクティブ(interactive)な関係

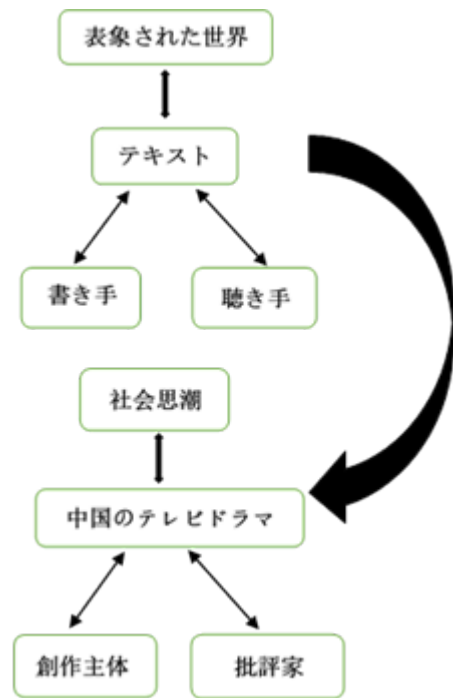


図1. 文芸批評の四要素と中国のテレビドラマ批評

「テレビドラマ批評の言説」と「社会思潮」には作用と反作用の関係が存在している。両者は平行し、互いに影響している。社会思潮が複雑に発展するにつれて、テレビドラマ批評は歴史の鏡のように、独特な視点で社会生活の変化に注目し記録する。異なる歴史時期の社会文化思潮はテレビドラマでその神髄が表現される。また、批評家の批評の言説は一定の文化観念から決定される。そして、各種文化観念は一定の文化を背景にして生まれ、その文化背景が社会思潮の直接的な表現となる。

1949年から20世紀代にかけて、中国映画は共産党指揮の新時期に入る。その影響を受けたこの時期のテレビドラマ批評の言説は、政治と緊密な関係にあった。特に「百花齊放百家争鳴」というの方針が提唱したから間もなく撤回されたことを証明されている。初期のテレビドラマ批評の言説は演出のための単なる技術論にすぎなかったが、次第にドラマ制作者や評論家たちによる本格的な議論へと発展した。文化大革命が終焉した1976年から、とりわけ1980年代以降、改革開放の新時期を迎えた。テレビドラマ批評の言説は、新時期の社会思潮の影響で新しい発展を遂げてきた。とりわけ西洋文芸思潮の流入とともに、文芸批評はその時代の潮流を反映した。中国社会では「西洋学ブーム」が現われ、中国テレビドラマの批評界に

新たな理論面の変革をもたらした。例えば、映画とは異なる表現を追求した「テレビ芸術論」や、実作とドラマ論が相互に関係しあいながら議論は展開した。とともに、外国文化による衝撃とテレビドラマ批評の言説は、国民を当時の閉鎖的で、膠着化した状態から思想的に開放し、新しい考えの開拓の面で、大きな促進作用を及ぼした。

3.2. 文化地域における中国テレビドラマ批評の言説の通時的的研究

中国テレビドラマ批評の言説のパターンと社会思潮の進展はDNAの二重螺旋のようなものである。すなわち、相互に平行して、また相互に影響している。現代社会思潮の進展の歴史において、批評の言説は明らかに時代の特徴を持つ。中国ドラマはエリート文化、大衆文化、多文化主義の三つの大きな文化潮流を次々と受けてきた。と同時に、芸術批評、文化批評、多元化批評の三つの批評特徴が相次いで現われてきた。

3.3. 西洋文芸批評理論が中国テレビドラマの理論研究に与えた影響の解明

前世紀の80年代に中国社会では「西洋学ブーム」が現われ、中国テレビドラマの批評界に新たな理論面の変革をもたらした。先人の批評を継承する中国テレビドラマの理論方式は「西洋言語学への転向」という大きな流れの中で「本体研究からテキスト研究へ」、そして「テキスト研究から文化研究へ」と、三次元解析の転向を経験した。つまり、中国と西洋は理論面で異なる道で発展してきたが、同じ方向をたどった。このきわめて時代の潮流を反映した文芸批評は、ちょうど世界文芸の理論研究の発展の軌跡をたどり、こうして中国文芸批評理論は西洋の人文科学理論に相接して、同じ道を歩むことになった。

4. 結論と今後の研究計画

本論文では、まず現代社会でさまざまなトレンドが発生し進む中で、改革開放の新時代から生じてきた社会的、歴史的な変化の文脈における中国のテレビ批評を材料としてとりあげて、ドラマ批評の言説と社会思潮とが重なり合い、互いに対応する規範を考察する。最後に、中国のテレビドラマの批評と社会思潮の傾向との相互関係を明らかにする。

中国のテレビドラマの批評と社会思潮の傾向と

の関係分析を通して、中国の現代のテレビドラマのいろいろな題材に対する批評は、そのテキストが社会思想の主流傾向を反映することを発見した(図1)。それは主流文化と大衆文化との言語環境の中で形成され、さらに様々な社会思潮の影響を受け、それぞれ特徴のあるディスコースを形成している。また、現代中国のテレビドラマにおける各種のジャンルの批評の文章は、社会思想の傾向、市場の動向、及び政治の影響を受け、批評家たちが自分の思想と見方を表明するための重要な手段になっている。と同時に、現在の中国ドラマ批評界には一つの現象が存在することがわかる。それは、批評家たちが一つの批評発表の場に集中しすぎることである。それゆえ、ドラマ批評分野の発展のバランスがとれないという事態が生じやすい。この現象を関連管理部門は十分に重視する必要がある。



図2. 『中国動漫新人類——日本のアニメと漫画が中国を動かす』(遠藤誉 日経BP社 2008)



図3. 『日本動漫影響力調査報告——当代中国大学生文化消費偏好研究』(陳奇佳 人民出版社 2009)

ドラえもん、聖闘士星矢、ONE PIECE、ちびまる子ちゃんなどのキャラクターは、中国ではよく知られている。しかも、近年、中国の映画館で公開された日本のアニメーション映画の数は過去最高となった。日本アニメーションに対する批評の言説に関する考察は、重要な研究課題となっている。例えば、『中国動漫新人類——日本のアニメと漫画が中国を動かす』(図2)という本は中国での日本の動漫の受容と影響について、詳細な報告と考察がなされていた。また、『日本動漫影響力調査報告——当代中国大学生文化消費偏好研究』(図3)という中国語の本は現在中国の大学生に日本の「動漫」がどのように受け入れられているかを紹介された。

これらの考察を踏まえて、今後の研究課題は、20世紀以来日本ドラマによる中国のテレビドラマ批評に関する言説への影響—特に中国大陸における日本アニメーションの影響力を視野に考察するである。研究内容は、20世紀以来、中国で放送された日本アニメーションにおける放送状況と影響力の関係性に関する研究であり、想像力や創造力などの諸言説を踏まえたうえで、基本的に映像表現の視点をアニメーションにおける創造の問題に関連付けたい。さらに比較的な考察を視野に入れて、日中アニメーション交流を作り続ける現代の代表的なアニメ作品を史的に検討し、日中アニメーション交流史にまつわる諸問題の解明を試みる予定である。

謝辞

本研究を遂行するにあたり、一橋大学名誉教授松岡弘先生には適切かつ貴重なご意見を戴くとともに本論文の細部にわたりご指導を戴いた。ここに深謝の意を表す。

付記

本研究は、中国東北師範大学メディア科学学院・北東アジア映画文化研究センター研究費の助成を受けたものである。

参考文献

日本語・論文

[1] 楊韜. 中国テレビドラマというプリズム—『裸婚時代』から見る転型期社会における婚姻をめぐる

諸問題—現代中国学ジャーナル. 愛知大学国際中国学研究センター. 2012, 4(2), p. 117-125.

[2] 南真理. 中国テレビドラマ『走向共和』の新歴史観—その製作, 受容をめぐる. 野草. 中国文芸研究会. 2010, 86, p. 81-100.

[3] 矢野浩二, 段非平. インタビュー 中国で活躍する日本人俳優 矢野浩二・人気の秘密(特集 最新中国テレビドラマ事情) 人民中国. 人民中国雑誌社. 2010, 679, p. 26-29.

[4] 高原. 人気ドラマに見る現代社会の変化(特集 最新中国テレビドラマ事情). 人民中国. 人民中国雑誌社. 2010, 679, p. 17-25.

[5] 高原, 井上俊彦. ドラマ制作の表と裏(特集 最新中国テレビドラマ事情). 人民中国. 人民中国雑誌社. 2010, 679, p. 11-16.

[6] 特集 最新中国テレビドラマ事情. 人民中国. 人民中国雑誌社. 679, p. 10-29.

中国語・論文(書籍)

[1] 刘京生. 当代社会思潮的主要特征. 理论前沿. 1999, 19, p. 21-22.

[2] 何梓. 略论社会思潮的本质和特征. 岭南学刊. 1999, 03, p. 45-49.

[3] 赵曜. 当代中国社会思潮透视. 中国特色社会主义研究. 2002, 01, p. 36-41.

[4] 张澍军. 试论社会思潮的意识本性及其一般社会倾向. 社会科学战线. 1993, 02, p. 101-105.

[5] 薛晋文. 电视剧研究的方法, 思想与立场——曾庆瑞教授访谈录. 文艺研究. 2014, 06, p. 77-86.

[6] 王玉辉, 敖柏. 从格雷马斯叙事理论视域析主旋律影片《飞天》, 重庆交通大学学报(社会科学视). 2015(05). p. 57-61.

[7] 周宪. 中国当代审美文化研究. 北京大学出版社. 1997, p. 162-163

[8] 杨远婴. 八九十年代中国电影理论发展主潮. 当代电影理论文选. 北京广播学院出版社. 2000, p. 18

[10] 仲呈祥. 中国电视剧与中国女导演. 中国电视. 2002, 10, p. 2.

[11] 刘丽莎. 开展客观公正文艺评论 探究农村喜

剧发展方向——电视剧《乡村爱情故事》研讨会综述. 当代电视. 2010, 06, p. 10.

[12] 吴素玲. 电视剧批评的多元视角. 现代传播. 200, 06, p. 141.

[13] 戴清. 试析电视剧理论批评发展的主要动因. 现代传播(中国传媒大学学报). 2012, 34(07), p. 45-49.

[14] 高建平. 美学的文化学转向. 江苏行政学院学报. 2011, 03, p. 38.

[15] 杨慧林. 当代神学对文论研究的潜在价值. 文艺研究. 2004, 03, p. 35.

[16] 戴锦华. 隐形书写. 江苏人民出版社. 1999, p. 7.

[17] 黄会林, 彭吉象, 张同道, 陈旭光, 周安华. 电视学导论. 高等教育出版社. 2008, p. 263.

[18] 钟惦棐. 电影评论有愧于电影创作——在中国电影家协会第二次全国理事会上的发言. 电影艺术. 1982, 09, p. 7.

[19] 陈闽璐. 有违女性自强的罗子君式女性成功学——对电视剧《我的前半生》的批评与反思. 当代电视. 2017, 12, p. 8-9.

[20] 王黑特, 潘希鸣. 电视剧学刊批评与网络批评的差异性探析. 现代传播(中国传媒大学学报). 2017, 39, 10, p. 92-96

Abstract

The research object of this paper is set for the Chinese TV drama criticism under the influence of contemporary social trend. This thesis carries on the rational analysis for Chinese TV criticisms using the theory of "criticism of the judge" for the first time. This thesis puts the Chinese TV criticism in the context of social and historical changes appearing since the new period of reform and opening under the background of the evolution of contemporary social trend. It carries out a series of close reading of the articles on different TV criticisms, using the elegant famous artists in the history of criticism of Chinese TV series material as a sample, using the Chinese TV series theme types to divide standards, trying to find a path for both of them echo under the law to follow in the mix of criticism of social ideological trend and subject matter. Through the analysis of Chinese TV drama genre criticism and the social ideological trend relations, we may discover, the TV drama genre criticism in the Chinese present age can reflect the mainstream society ideological trend on its text. It grows in the elite culture and in the mass culture linguistic environment, thus it could be influenced by each kind of social ideological trend. Moreover, Contemporary China's TV drama genre criticism was produced social ideological trend, market, and politics. As a center of society, it has the important understanding function. But currently Chinese TV drama criticism appear over concentration in critic and criticism position, the relevant departments also need to pay attention to them.

(受付日: 2018年10月14日, 受理日: 2018年11月30日)

王 玉輝 (おう ぎょくき)

現職: 中国・東北師範大学北東アジア映画研究センター客員研究員

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程在学.

専門は中国映画論, 映像表象論, メディア論. 現在は「中国映画における分身の表象に関する史的考察—日本, 欧米との比較を交えながら」というテーマで研究を行っている.